

## ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

### 【申請団体】

申請団体名	認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会
(協議体の場合のみ) 代表団体名	
(申請団体の) 代表者の職・氏名	理事長 山本佳子
協議体構成団体①	
協議体構成団体②	
協議体構成団体③	
協議体構成団体④	

### 【団体情報】

団体ホームページ	<a href="http://pandahouse.org">http:// pandahouse.org</a>
又は公開予定日	

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

### 1 事業名

共に触れ合い福島で生きる ～手作り品から生まれるきずな～

### 2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

※ 今回申請する事業を実施することにより解決を図ろうとする、東日本大震災、若しくは、原子力災害を契機とした地域課題を記載下さい。

ふるさとに戻れる見通しのない中で新しい地域に根をおろす方は、家族や近隣の方と離れざるを得ないことがある上、新たな関係を作る機会も限られ、孤独な時間を過ごしていることも少なくない。仕事を辞めたり、好きなことを行う意欲もなくなったりすれば、自分の役割を失い引きこもってしまうことが懸念される。

そこで、被災者が新しい出会いをしてつながりを作り、生きがいや自己実現を見出すきっかけとなることを目指す。

### 3 事業の必要性（200字以内）

※ 当該事業を実施するにあたり、そのニーズを把握している場合は、具体的に記載願います。

新しい土地で新たな人との関係を作ることは難しい。当事業は6ヵ月を通して継続的に行うもので複数回参加することができ、単発的な出会いよりも関係を作りやすいと考える。また、自分たちの作ったものを闘病中の子どもたちに贈るという共通の目標をもち共に喜び合えることは、つながりを深めることになると考える。出会いの場となるだけでなく、支援する立場になることは、生きがいなどをみつけるきっかけにもなると考える。

### 4 事業内容

#### 【実施取組1】

手芸・版画教室

主な活動地域：福島市および福島市近郊 | 実施期間：H27/6月末～H27/12月末

#### 【取組内容】（100字以内）

※ 上記2の地域課題解決、及び、上記3の事業の必要性のため、どのような事業を実施するのか具体的かつ簡潔に記載願います。

長年当団体の活動を指導して下さる方が講師となり、被災者と共にバック、多色刷りの版画カードとカレンダーを作る。作ったものは、福島医大病院に入院中の子どもとその家族にクリスマスプレゼントとして配布する。

### 5 事業効果（各200字以内）

※ 当該事業を実施することにより、どのような効果が生まれるか具体的に記載してください。

当事業は、被災者が当団体に携わる福島市在住のボランティアと共に手芸や版画を行うものである。福島市や近郊で暮らし続ける被災者にとって、同じ地域や近隣に住む人と関係を作る機会になる。また、被災者の方は、支援を受ける立場から、自分の楽しみや特技を活かすことで喜んでくれる方がいると感じるような「支援をする立場」になることで、生活の楽しみや生きがい、自己実現につながることを期待できる。

【情報発信力】復興関連の取組（イベント等）を事業の主な目的としている場合のみ記載

## 6 実施団体の運営力強化（各200字以内）

**【人材育成の観点】** ※活動を通じた外部専門家の招聘や研修の実施により、団体スタッフの専門的知識やノウハウの獲得が見込まれる点について記載してください。

当団体の活動には、ボランティアの力は欠かせないものである。当事業は、ボランティアの発掘と育成、ボランティアコーディネートのノウハウを身につけることができる。また、当団体は、ハウスを増改築して運営を拡大する予定である。それに伴い、ボランティアはもちろん、ハウスマネージャーや事務職員を増やすことが必要である。当事業で新規雇用するスタッフを育成し活動を継続してもらうことは、運営体制強化になる。

**【ネットワーク形成の観点】** ※活動を通じて復興・被災者支援に関する地域間、支援団体間の情報共有やノウハウの移転等を実施するものについて記載してください。

当団体が被災者支援を行うのは初めての試みである。当事業について情報公開し、他の支援団体と意見交換や情報共有をしながら、被災者支援のノウハウを向上させ、支援のネットワークを作っていくようにする。

## 7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月	実施取組 1	実施取組 2
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の講師の依頼</li> <li>・手芸・版画教室参加者（被災者）の募集開始</li> <li>・当団体登録ボランティアへの参加依頼</li> <li>・新規雇用スタッフ（有償）の募集開始（1名）</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸・版画教室の開催 2回／月程度</li> <li>・プレゼントの配布</li> </ul>	
1月		
2月		
3月		

※表が足りない場合は、適宜追加してください。

## 8 事業の実現性について（200字以内）

※ 当該事業が計画倒れとならないよう、現時点で確定していることや、これまでの経験・実績などを踏まえて当該事業の実現の可能性を具体的に記載してください。

闘病中の子どもとその家族にクリスマスプレゼントを贈る活動は、当団体の活動当初から行っている事業で10年以上継続している。当団体の登録ボランティア60名のうち、毎年約15名のボランティアの方が携わっている。手芸は女性10名程で6ヵ月間定期的に活動を行い、版画は男性を中心とした10名以上が携わり、100個以上のプレゼントを作成している。このような実績から、新しいボランティアを受け入れる当該事業を実現させることが可能である。

## 9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

※ 仮に平成27年度補助金に採択された場合、平成28年度以降の事業展開について記載してください。

被災者が知り合いや仲間を作る機会としたり、好きなことを活かしたりできるよう、今後も今回の参加者や新規の方が活動に参加できるようにする。

当団体の活動は、毎日のハウスの清掃や啓蒙活動のイベント開催などがあり、その運営には主婦の力、イベント実践力など多種多様な力が必要である。被災者を含めた福島住民の力で未来ある子どもを支援する取り組みとなるよう、福島住民の力を合わせた事業として発展させる。

## 10 事業の先進性・普及性（200字以内）

※ 震災を契機とした課題に対する取組であり、申請した取組がどのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるかを記載してください。

被災者に当活動に携わってもらうことは、被災者の力をお借りすることである。被災者が「支援を受ける立場」から「支援する立場」になることであり、多くのつらい経験をしている方だからこそ、その方の持つ力を発揮できることは大きな意味があり、先進性があると考えます。また、病児とその家族も含めたつながりであり、どのような状況にある人ともきずなを結ぶという、思いやりのある地域作りの活動としてモデルとなるよう努力します。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

※ 特に説明しておきたい事項、アピールポイントありましたら記載してください。

当団体は、闘病生活を送る子どもとその家族に、「あたり前の生活」を提供する支援を行っている。当事業は、被災者の方が手芸や版画という新しい趣味を作ることになったり、楽しみの時間となったり、自分の特技を発揮していただく機会になったり、人とのつながりの中で「日常」を取り戻すことができるような支援につながるものである。ことになると考えられる。

12 その他の助成金について

① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。 答えが「はい」の場合のみ②へ	はい／ <input checked="" type="radio"/> いいえ
② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区別することができる。	はい／いいえ

※ 他の助成金を受けた事業と明確に区別することができない場合は応募できません。

第3号様式（第4条関係）

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成 27 年度 予算額	明 細
人件費（共済費を含む）	306	850 円×5 時間×12 日×6 か月
報償費	223	手作りバッグ講師謝金 9,300 円×12 回 111,600 円 版画講師謝金 9,300 円×12 回 111,600 円
旅費	76	講師交通費（福島市⇄会場） 32km（片道）×25 円×2×12 回 19,200 円 講師交通費（福島市⇄会場） 32km（片道）×25 円×2×12 回 19,200 円 スタッフ交通費（福島市⇄会場） 32km（片道）×25 円×2×12 回×2 名 38,400 円
需用費 a1+b1+c1	653	
消耗品費 a1	641	バッグ材料代（布,糸,芯等） 2,500 円×150 個 375,000 円 ラッピング袋材料代（布,糸,紐等） 1,000 円×150 個 150,000 円 版画用ゴム版 20 枚/1 種類×5 種類×150 円 15,000 円 彫刻刀（セット） 2,500 円×10 個 25,000 円 絵具 20,000 円 その他版画用具（筆,パレン,筆洗用バケツ,パレット等） 30,000 円 版画用カード（300 円/10 枚） 200 枚 6,000 円 カレンダー用厚紙（1,000 円/A4 版 100 枚） 1,500 枚 15,000 円 チラシ印刷用紙（1000 円/100 枚×5 冊） 5,000 円
燃料費 b1		
印刷製本費 c1	12	ボランティア募集チラシ印刷費（A4 版 500 枚） 12,000 円
役務費 a2+b2+c2	53	
通信運搬費 a2	53	スタッフ募集広告代（LIVING 新聞） 53,000 円
手数料 b2		
保険料 c2		
使用料及び賃借料	36	会場代 3,000 円×12 回 36,000 円
委託料		
A. 支出合計	1347	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位：千円)

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
自己資金（負担者名）		
寄付金等	270	
その他収入		
事業収入		
B. 自己資金合計	270	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 1077 千円 (A. 支出合計 - B. 自己資金合計)

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。